



黄金の森

2023年 9月 8日発行
南風原町立 南風原中学校
発行者 校長 比嘉智也
校長だより第10号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

失敗を繰り返してもそれは過程にすぎない！

2学期が始まって2週間が経ちました。生徒の皆さん、2学期にやりたいことは決めましたか？ 皆さん一人ひとりには、自分が決めたことへ積極的に『挑戦』して欲しいと思っています。さて、明日島尻地区陸上競技大会が開催されます。大会に参加する皆さん、自分のベストの記録が出せるように自分自身へ『挑戦』してください。全選手の活躍を期待しています。頑張れ南中！

『挑戦』は成長するためのチャンス！

『挑戦』をする人生を送っているか

『挑戦』をすることで自分自身を成長させることができ、『挑戦』が自分の持つ新しい可能性を教えてください。しかしそのことに気付いていても、自分が『挑戦』をする人生を選んでいるかを判断するのは難しいかもしれません。そこでこれまでの自分は成功することが多いか、失敗することが多いかを考えてみてください。『挑戦』とは、自分の力を発揮すれば容易に成功できる、低いハードルを乗り越えることではありません。『挑戦』とは、今の力では克服できない、高いハードルを乗り越えることです。このように考えた場合、成功ばかり経験している人は、自分では『挑戦』をしていると思っていても、実は『挑戦』をしてこなかった人かもしれません。いつでも克服できる課題しか自分に課してこなかった人かもしれません。



失敗が多い人生は、『挑戦』の多い人生

『挑戦』をしている人は、克服困難な大きな課題にいつも取り組んでいる人です。克服困難な課題に『挑戦』をしている人は、当たり前ですが失敗をすることが多くなります。

走り高跳びに例えれば、100cmのバーをすでに跳べる人が、90cmのバーを跳ぶことは『挑戦』とは言えませんね。何度跳んでも成功しますが、それは『挑戦』していないからです。そして『挑戦』をしなければいつまで経っても100cm以上のバーを越えることはできません。

一方で100cmのバーを跳ぶ力しかない人が150cmや200cmのバーを越えようとするれば失敗することが多くなりますね。しかし何度も高いバーを跳ぼうとすることで、ジャンプ力を鍛え、跳び方を工夫し、跳躍力が徐々にアップします。そしていつか200cmのバーも跳べるようになるかもしれません。200cmのバーを目標に設定すれば、失敗の連続になります。つまり高い目標や課題を設定して『挑戦』をしている人は、自然に失敗が多くなります。

『挑戦』をすれば最終的に人生の勝者に

失敗を繰り返しても、それは過程にすぎません。走り高跳びの例で言えば、最終的に200cmのバーを越えることができれば、それまでの失敗は無駄になりません。逆に何度90cmのバーを越えても、成長にはつながりません。それは意味のない成功体験と言えるでしょう。人生に大きな目標を立てて、それを達成しようとするれば、失敗から逃れることはできません。しかし例え失敗が続いていても、自分が成長できているという実感を得ることはできるはずです。失敗を恐れて、人

生の目標を低く設定してしまえば、成功はするものの人生から大きなリターンを得ることはできないはず。成功の連続の人生は、実は『挑戦』のない人生で、自分が成長する機会を自ら奪った人生と言えるのかも知れません。高い目標を設定し『挑戦』を繰り返すことで人は成長し、大きなリターンを得ることができます。その過程では失敗はつきものです。自分の人生を振り返り、失敗ばかりだと思える人は、実は『挑戦』を繰り返してきた大きな成功を得る可能性が高い人生と言えるでしょう。

『チャレンジ精神』が人生を充実させる

人は一生を送る過程で様々な問題に直面します。問題は学校生活におけるものや家庭でのものなど、区別なく様々な場面で起こります。問題を克服するために努力をすることは、人が生きていく上で避けられないことです。



一方で、人はネガティブな状況の打開のためだけに努力をするわけではありません。自分の理想に向けてポジティブな考えを持って『挑戦』のための努力をします。ネガティブな状況の打開、理想を達成するために必要な心構えを『チャレンジ精神』とも呼ぶことができます。人生を充実させるために必要な心構えです。人の一生の充実度は、どれだけ『チャレンジ精神』を持って努力を続けられるかどうかで決まってくるとも言えるのです。

『挑戦』により素質が開花する

『挑戦』を続けることで、自分の持っている隠れた素質が開花することがあります。例えばある人が企業内でスイーツの新商品開発担当者に初めてなった時、その人は商品の味や見た目等いろいろと試行錯誤していきます。その試行錯誤を繰り返すうちに、今までの自分では思いつかないような新商品のアイデアがひらめく。そして、自分の持っている商品開発の素質が一気に開花するのを感じます。もし、試行錯誤するという『挑戦』を避けていたら、決して開花するはずがなかった素質です。追い込まれ、せざるを得ない状況になった時の『挑戦』や、自分から臨んで未経験の作業に『挑戦』することで、まだ見ぬ自分の中に眠っている才能が解き放たれることになります。『挑戦』をすることでしか見つけることができないものなのです。しり込みをせずに『挑戦』をする人生を選ぶことで、自分の中の可能性をたくさん引き出すことができます。自分の可能性が広がればさらなる大きな『挑戦』をすることができますし、大きな困難を克服することも可能になるでしょう。



『挑戦』すること

『挑戦』することは、自分が達成困難な大きな課題にチャレンジすることです。『挑戦』をする
と自分自身を成長させることができます。また『挑戦』をすることで、自分の隠れた才能を引き出すことができます。『挑戦』ができているかどうかは、これまで成功が多いか、失敗が多いかを自分に問いかけてください。『挑戦』をしている人ほど失敗が多くなっているでしょう。しかし何度失敗を繰り返しても、最終的に大きな目標を達成することができれば、失敗は無駄になりません。



「挫折は過程、最後に成功すれば、挫折は過程に変わる。だから成功するまで諦めないだけ」

元サッカー日本代表 本田圭佑さんのことば



校長クイズ

- 1 「お車車車」は、なんと読むでしょう？
- 2 「太陽組」は、なんて読むでしょう？

前号クイズの解答

- 1 医師
- 2 東海道新幹線